

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



高橋ゆうこ県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県公用車、すべて電動車に



登壇し、県の施策について質問する高橋祐子議員

再質問

高橋議員 千葉県
の公用車でのハイブリッドを含む電動車
の動向を踏まえ、二酸化炭素排出量のより少ない電動車を積極的に導入してまいります。

高橋ゆうこプロフィール

○ 経歴 ○

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年富里市議会議員当選
- 平成27年富里市議会議員当選
- 平成31年千葉県議会議員当選

○ 現職 ○

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員
- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 生活衛生適正化審議会委員
- 千葉県男女共同参画推進懇話会委員

高橋議員 国は、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、そしてハイブリッド自動車の4種類の「電動車」にするという目

標を打ち出し、率先導入することとしている。2050年カーボンニュートラルに向けて待ったなしの状況において、多くの

公用車を保有する県としても、こうした国の動きに遅れることができないよう、また事業者や県民の模範となるよう、電動車を率先して導

12月定例県議会一般質問

持続可能な社会の実現に取り組んでいる高橋祐子県議（富里市選出、1期）は、12月定例県議会で一般質問に臨み、カーボンニュートラル実現への取り組みの一環として、県公用車の電動車導入について質問しました。「2030年度までに公用車全体を電動車にする」との答弁に対し、高橋県議は「ハイブリッドに頼らず、すべての公用車を電気自動車とするよう目標の見直しを」と要望しました。県の危機管理体制などの質問と併せて、高橋議員の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

2030年度までに

「電気自動車の導入を」高橋

環境生活部長 県としましても、電動車を積極的に導入すべく、新たに「公用車への電動車導入方針」を定めたところであります。今後、同方針に基づいて取り組んでまいります。

そこでうかがうが、県の公用車における電動車の導入状況はどうか。また、電動車の導入を積極的に進めしていくべきと思うがどうか。

再質問

高橋議員 一般的にハイブリッド車は電動車に含まれないのが世界のスタンダード。より

環境生活部長 昨年度末時点で、県の公用車431台であり、その内訳はハイブリッド自動車が141台、電気自動車が2台、燃

料電池自動車が1台となつています。

一方、2050年カーボンニュートラルを実現する上では、県自らの率先した取り組みが必要であることが、本年10月に「千葉県公用車の電動車導入方針」を策定し、2030年度までに公用車全体を電動車にするという目標を定めました。

それに基づき、来年度は原則として、ハイブリッド自動車を導入することとしており、さらに、今後、市場の動向を踏まえ、二酸化炭素排出量のより少ない電動車を積極的に導入してま

るがどうか。

再質問

高橋議員 電動車の導入については、ハイブリッドに頼りすぎる

環境生活部長 内の電気自動車につきましては、県が多く保有する貨物車等において、市販されていないといった課題があることから、今後、市場の状況等を踏まえながら、検討してまいります。

再質問

高橋議員 電動車の導入目標とするよう見直

● 県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

印旛地域の消防広域化 作業部会で具体的検討へ

高橋議員 危機管理専門職として配置される災害・危機管理対策監は、災害発生時には対策本部の中心的存在となるべきであり、人命はもとより、様々な被害に迅速な対応を迫られている

各部長と対等、かつスマートな連携が必要不可欠であることから、職位は少なくとも部長級であるべきと考える。

近年の温暖化による想定を超えるような台風や豪雨、

高橋議員 印旛地域における消防広域化について、今後どのようなことを検討していくのか。

防災危機管理部長 印旛地域の市町の広域行政や消防の関係者が参加し、先月開催した消防広域化に関する会議では、今後、実務担当者によるワーキンググループを設け、具体的な検討を進めるなどを確認しました。

まずは、このワーキンググループにおいて、救急隊・消防隊等の運用体制や相互応援の状況、水害・地震等の災害リスク、今後の火災・救急等の消防需要等を把握し、地域の関係者で共有することとしております。

その上で、必要となる消防力に係る課題を明確にし、課題解決に向けた具体的な広域連携の方策を検討して

現在、銚子市沖やいすみ市

商工労働部長 県内では

洋上風力発電

導入戦略策定を提言

高橋議員 千葉県においても、洋上風力発電について野心的な導入目標を掲げていいべきではないか。また、

高橋議員 千葉県においても、洋上風力発電について野心的な導入目標を掲げていいべきではないか。また、

洋上風力発電

手厚い支援必要

農林水産部長 県では、

本年1月に、第3次千葉県有機農業推進計画を策定し、

取り組み面積の約800ヘクタールへの拡大、消費者理解の増進、普及指導の強化などを目標に、推進を図っています。

保健医療担当部長 子宮

接種を積極推奨

子宮頸がんワクチン接種を積極的推奨

県では、関連産業育成や人材育成に向けて、どのように取り組みを行っているのか。

高橋議員 農業の扱い手が減少している中で、通常の栽培に比べて労力がかかり、安定生産が難しい有機農業における生産者の確保や育成は重要であり、手厚い支援が必要と考える。

そこでかがうが、県は

具体的には、研究機関で取り組む方の意見もうかがいながら、その推進に取り組んでまいります。

市町村長とのホットライン開設など、初動体制の強化

などを目標に、推進を図っています。

具体的には、研究機関で

の水稲の効率的な除草技術

強化へ司令塔の整備を 危機管理体制の充実!

要望 高橋議員 例えば、部の名称を変更し、「危機管理への対応」を全面的に打ち出し、大胆な形で取り組むことで、県民への安全安心につなげてほしい。

防災危機管理部長 危機管理専門職の配置に関しては、少なからずも部長級の危機管理専門職の配置が必要と考えるがどうか。

迅速な災害応急対策を進め隊など防災関係機関との連絡調整や連携を図りながら

また、全序的な対応が必要な場合は、各部局長を本部員とする災害対策本部を設置し、知事として、情報収集や応急対策の全序的な調整を担うこととなり

これまで、配備基準の明確化やリエゾン派遣、

保健医療担当部長 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨について、県としてどのように取り組んでいくのか

要望 高橋議員 例えば、

市町村長とのホットライン開設など、初動体制の強化

を進めてきたところですが、今後も、より迅速な災害対応に向けて、必要な体制を検討してまいります。



議場の自席で県の答弁に対し要望をする高橋県議

これまで、配備基準の明確化やリエゾン派遣、

保健医療担当部長 子宮

接種を積極推奨

子宮頸がんワクチン接種を積極的推奨

の開発、有機農業が持つ環境負荷低減効果を消費者にPRするためのリーフレットの作成、有機農業の認証制度である有機JASの取得を指導・助言できる普及指導員の育成などを行っています。国は、施策動向を注視するとともに、有機農業に取り組む方の意見もうかがいながら、その推進に取り組んでまいりますとともに、接種において現場が円滑に対応できるよう、国に対し必要な提言等を行ってまいります。

具体的には、研究機関で取り組む方の意見もうかがいながら、その推進に取り組んでまいりますとともに、接種において現場が円滑に対応できるよう、国に対し必要な提言等を行ってまいります。